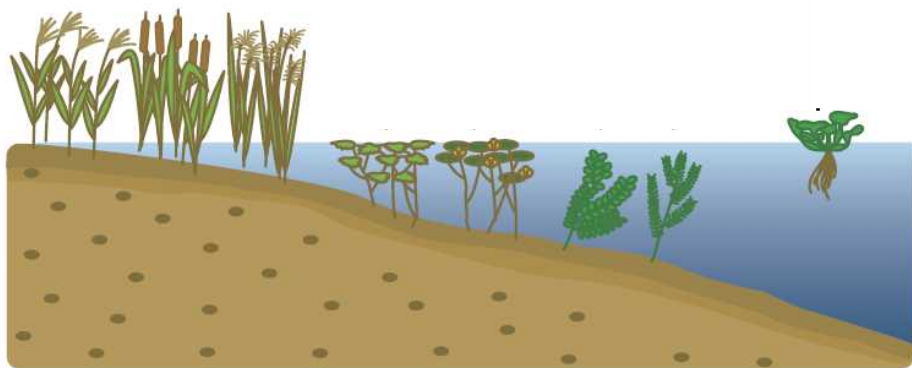


霞ヶ浦にすむおもな植物

ちゅうすい 抽水植物 葉と茎を水面に出す植物 ヨシ ヒメガマ マコモ	ふよう 浮葉植物 葉を水面に浮べる植物 ヒシ アサザ	ちんすい 沈水植物 全体が水中に沈む植物 エビモ マツモ	ふひょう 浮漂植物 水中や水面に浮く植物 トチカガミ
---	-------------------------------------	---------------------------------------	-------------------------------------



希少な植物たち | 左側のものほど絶滅の恐れが高い 茨城県版レッドデータブック 2012 による
 ★絶滅危惧ⅠA類 > ☆絶滅危惧ⅠB類 > ●絶滅危惧Ⅱ類 > ○準絶滅危惧

水生植物は、栄養を吸収して水をきれいにはしています。植物をかり取することで、栄養を湖の外に取り出すことができます。水生植物は魚の産卵場所や野鳥のすみかとなり、生態系を多様化します。

ちゅうすいしよくぶつ
抽水植物 根は水底の土壤中にあり、葉や茎の一部または大部分が空気中に伸びている植物



ヨシ 【イネ科】
 高さ2～3m。霞ヶ浦でよく見られる抽水植物。茎は中空。よしずに利用される。



ヒメガマ 【ガマ科】
 高さ1～2m。茶色い棒状の穂をつける。熟すと穂が破れ針の形をした種子が飛び出す。



マコモ 【イネ科】
 高さ1～2m。水面から幅の広い葉を伸ばす。根元にできる肥大した新芽のマコモダケは食用とされる。



オギ 【イネ科】
 ススキに似ているが、湿地に生えるところと、株をつくらないうところが違う。



ミクリ ○準絶
 【ミクリ科】
 栗のいがのような実をつけるので実栗という。花は6～9月ごろ。



シロネ 【シソ科】
 地下茎が太く白いのでシロネという。茎の断面は、四角形。



ウキヤガラ 【カヤツリグサ科】
 真っ直ぐに伸びる花茎の上に、3～8個の花をつける。枯れた茎は軽く、水に浮く。茎の断面は三角形。



ジョウロウスゲ ○準絶
 【カヤツリグサ科】
 丸くて大きな穂があり熟すと種子をたくさんつける。



ミズアオイ ○準絶
 【ミズアオイ科】
 葉の形は葵に似ている。7～10月に青紫色の花が咲く。高さ50cmくらい。

ふようしょくぶつ
浮葉植物

水面に浮く葉を広げている植物



ヒシ 【ヒシ科】

葉はひし形で、放射状に水面に広がる。種子には2つのトゲがある。



アサザ ●絶Ⅱ 【ミツガシワ科】

葉は丸く深く切れ込んでいる。黄色い花が午前中だけ咲く。



ガガブタ ●絶Ⅱ 【ミツガシワ科】

葉の縁は丸い。白い花弁には多数の毛がある。花は1日だけ咲く。



オニバス ★絶ⅠA 【スイレン科】

葉の表面にはシワとするといトゲがある。紫色の花が咲く。

ふひようしょくぶつ
浮漂植物

根が水底に固着せず、浮かんだまま生活をする植物
浮遊植物ともいう。



ウキクサ 【ウキクサ科】

水流のないところでよく育つ。根にはおもりの役目もある。



コウキクサ 【ウキクサ科】
根は1本だけ生える。

ミジンコウキクサ 【ウキクサ科】
世界最小の種子植物。
～0.8mm くらい。



トチカガミ ●絶Ⅱ 【トチカガミ科】

葉の裏に気嚢(きのう)という浮き袋の構造がある。水中枝(茎)からもふえる。



サンショウモ ☆絶ⅠB 【サンショウモ科】

葉は3枚が輪状に並ぶが、2枚は水面に向かい合って浮き、1枚は細かくさけて水中に伸びる。

かいひんせいしょくぶつ
海浜性植物

海岸の主に砂浜に育つ植物。
昔は海だった証拠か？



ハマヒルガオ 【ヒルガオ科】



ハマエンドウ 【マメ科】



コウボウシバ 【カヤツリグサ科】

ちんすいしょくぶつ
沈水植物

からだ全体が、
水中にある植物



エビモ 【ヒルムシロ科】

全長～3m。エビがいるようなところに生える。だ円形のねじれた葉をもつ。



ササバモ ●絶Ⅱ 【ヒルムシロ科】

葉は濃い緑色で笹に似た形をしている。



マツモ ○準絶 【マツモ科】

葉にはのこぎりの歯のようなとげがある。根はない。

※ 現在の霞ヶ浦で沈水植物はほとんど見ることができません。